



特殊詐欺は電話から 被害を防ぐためにできること

日々巧妙に進化する手口でお金をだまし取る『特殊詐欺』。特殊詐欺の被害は、対策をすれば未然に防ぐことができます。今回はそんな特殊詐欺被害の防止策について特集します。

特殊詐欺とは

特殊詐欺とは、犯人が電話やハガキ（封書）などで親族や公共機関の職員を名乗り、被害者を信じ込ませ、現金やキャッシュカードをだまし取ったり、医療費の還付金が受け取れるなどと言ってATMを操作させ、犯人の口座に送金させる犯罪の総称です。

市内でも多く確認されています！情報を聞き出す『予兆電話』

近年、特殊詐欺の被害をニュースでよく耳にしますが、深谷市も例外ではありません。令和5

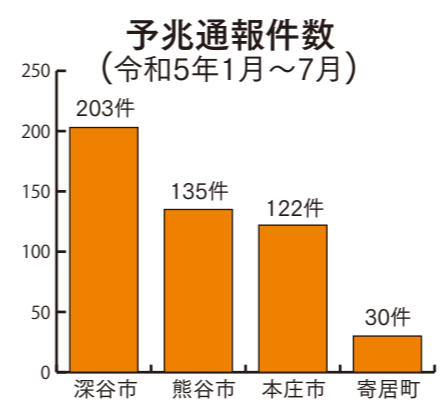
年1月～7月の市内の特殊詐欺被害認知件数は15件、被害額は2,872万円となっています。

また、このような被害につながると思われる『予兆電話・メール』の警察への通報件数が、深谷市は203件と、近隣自治体と比べると多く（下記『予兆通報件数』参照・県警特殊詐欺総合対策本部調べ）、特殊詐欺は他人事ではなく、被害に遭う危険性が身近にあることが分かります。

特に、予兆電話は「アポ電」と呼ばれ、警察官や役所の職員、銀行員、親族などになりすまし、犯行前にターゲットの資産、家族構

成、利用金融機関や在宅状況などを聞き出します。

ここで犯人に情報を渡してしまつと、被害に遭う可能性が高まるため、予兆電話の時点で被害を未然に防ぐことが重要です。



電話の機能と心掛けで予兆電話からの被害を防止

このように特殊詐欺の被害防止のためには、犯人が事前に情報を把握する目的でかけてくる、『予兆電話』への対策が大切です。

日ごろから、家族など対策について話し合い、詐欺被害防止機能付き電話機などを積極的に活用しましょう。また、『詐欺かな』と疑う意識を持ち、『自分にも予兆電話がかかってくるかもしれない』という心がまえで、少しでもおかしいと感じたら必ず周りの人に相談しましょう。

詐欺被害防止機能付き電話機を無償で貸与しています

自治振興課 ☎574-8597

市では、高齢者を狙った特殊詐欺や消費者被害を未然に防ぎ、高齢者世帯の大切な財産を守るため、詐欺被害防止機能付き電話機を無償で貸与します。

特殊詐欺や悪質商法の犯人は、犯行の形跡を残すことをとても嫌います。そこで、電話の着信時に『通話内容を録音する』旨の警告メッセージを残すことで、犯行を未然に防ぐ効果が期待できます。

- 対象** 次のいずれかに該当するかた
 ① 65歳以上のみの高齢者世帯、② 日中において、65歳以上の高齢者のみとなる世帯
- 期間** 対象要件にあてはまる限り、無期限で貸与。
申し込み 問い合わせ窓口に申請書を提出。
 ※詳しくは市ホームページ（右記QRコードからアクセス）をご確認ください。
- 貸与数** 200台（予定数に達し次第終了）



詐欺被害防止機能付き電話機の機能



Interview ※深谷市は、深谷・岡部地区は深谷警察署、川本・花園地区は寄居警察署が管轄となっています。

電話でお金の話は詐欺！被害者の多くは高齢者です

最近、還付金詐欺や電子マネーを要求する詐欺が増えています。犯人は主に電話を使って接触してきます。そして被害者の多くは高齢者で、家に家族がいるのに一人で行動し、だまされてしまった事例や、夫婦そろって電話の相手を信じ込んでしまった事例が発生しています。

このような被害を出さないために一番大切なことは、『犯人からの電話に出ないこと』です。もし、電話に出てしまったときは、お金の話をされたら詐欺であることを疑いましょう。



一番大切なのは『電話に出ないこと』

詐欺の始まりは電話から！対策に有効なサービスを活用しましょう

電話への対策として、『詐欺被害防止機能付き電話機を活用する』『ナンバーディスプレイ付きの電話で相手の番号を確認する』『留守番電話設定にしておき、録音内容を聞いてから対応する』といった対策が効果的です。また、通信事業者が詐欺被害防止のために提供するナンバーディスプレイの無償化サービス、電話番号の変更など、対策に有効なサービスを積極的に利用してください。

詐欺対策は、最近の手口を知ることが大切であり、怪しいな、おかしいなと気付くかがポイントです。一人で悩まず、少しでもおかしいと思ったら周りの人や警察に相談しましょう。そして、被害に遭わなかった場合も、今後の被害を防ぐために警察への情報提供をお願いします。



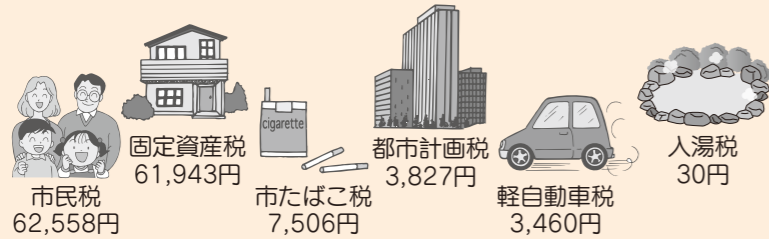
一般会計

市の基本的な経費を取り扱う会計

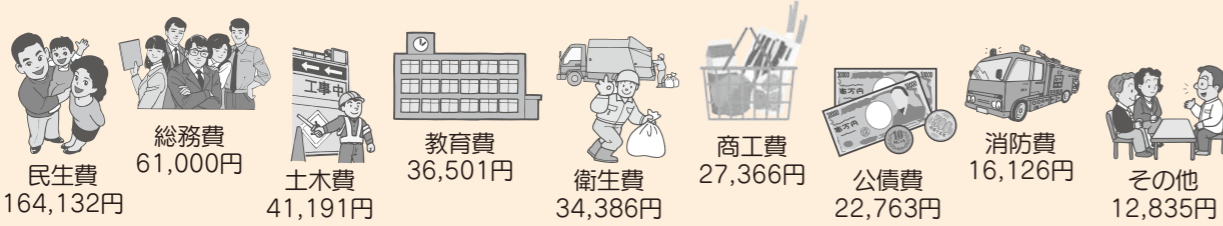
市の財政を1人当たりで換算すると…

※141,343人（外国籍のかたを含む・令和5年3月31日現在）で計算

市民の皆さん1人当たりが負担したお金 **139,324円**



市民の皆さん1人当たりに使われたお金 **416,300円**



※上記の『市民の皆さん1人当たりに使われたお金』は、『市民の皆さん1人当たりが負担したお金』のほか、国庫支出金や地方交付税などを財源としています。

市税（市民の皆さんが負担したお金）の内訳は、市民税88億4,211万円、固定資産税87億5,521万円、市たばこ税10億6,099万円、都市計画税5億4,091万円、軽自動車税4億8,907万円、入湯税415万円です。

市税のうち都市計画税は、都市計画事業（道路や下水道など都市計画施設の整備に関する事業）または土地区画整理事業に要する費用に充てるために課税される目的税です。令和4年度は、土地区画整理事業や下水道事業などの財源として活用しています。

歳入のポイント

市税については、個人市民税や固定資産税の増加により、全体として増加となりました。総額では前年度比17億7,206万円増の633億7,733万円となりました。
自主財源：市税や使用料など、市が自主的に集めることのできる財源
依存財源：地方交付税や国・県の補助金など、国や県などから交付される財源

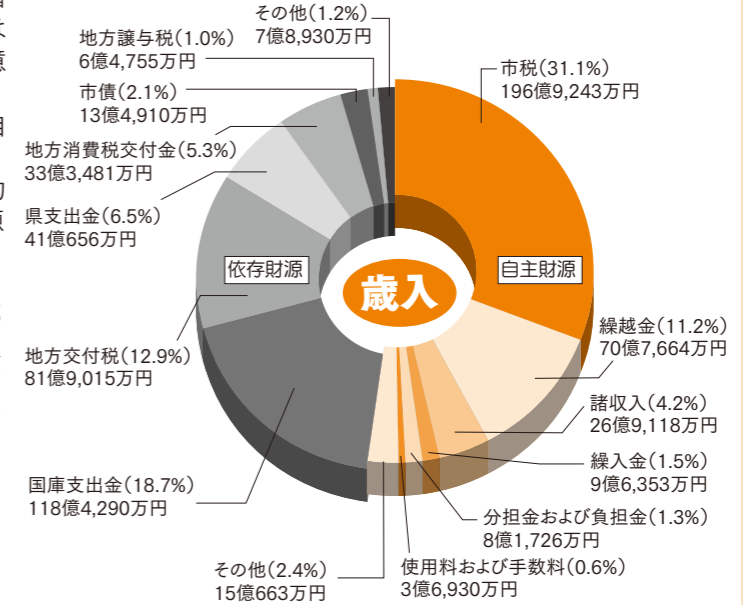
歳出のポイント

歳出については、原郷上野台線などの事業の進捗に伴い、総額では、前年度比43億1,251万円増の588億4,115万円となりました。

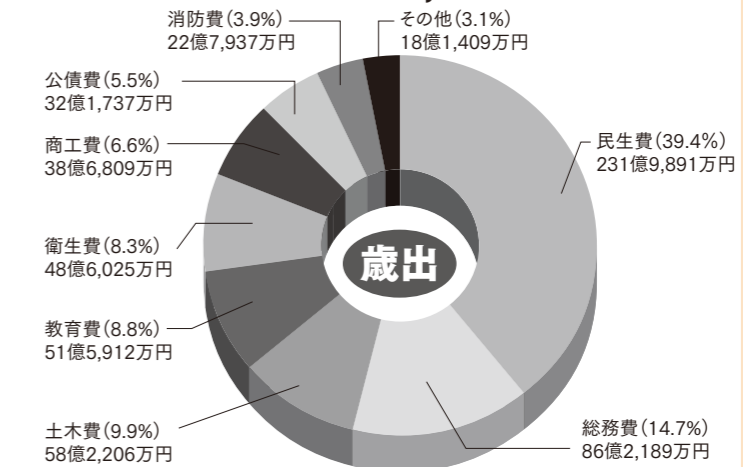
【令和4年度の主な事業】

- ・私立保育施設運営事業
 決算額：43億358万円
 第2子保育料の無償化を実施し、保育サービスを充実
- ・渋沢栄一政策推進事業
 決算額：1,159万円
 渋沢栄一ひとづくりカレッジをはじめ、渋沢栄一翁を核とした地域活性化の推進
- ・畠山重忠顕彰事業
 決算額：1,119万円
 地域活性化を目的とした、畠山重忠公プロジェクトの推進
- ・産業拠点推進事業
 決算額：4億571万円
 農業と観光の振興を目的とした花園IC拠点整備プロジェクトの推進

歳入 ● **633億7,733万円**
 (前年度比17億7,206万円増)

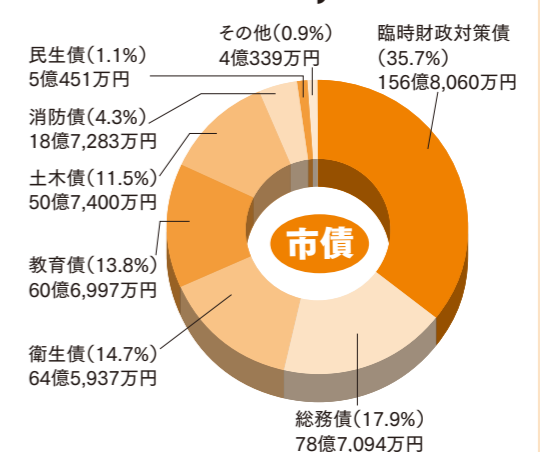


歳出 ● **588億4,115万円**
 (前年度比43億1,251万円増)



市債残高

市債 ● **439億3,562万円**



特別会計

特定の歳入歳出を一般会計と区別して経理する会計

会計	歳入	歳出
国民健康保険	151億1,526万円	146億6,090万円
後期高齢者医療	32億3,878万円	32億1,185万円
国済寺土地区画整理	5億3,513万円	4億6,136万円
ふかや花園駅前土地区画整理	12億5,082万円	11億1,336万円

企業会計

独立採算を原則として経営を行う事業の会計

水道事業会計（税込）			下水道事業会計（税込）		
区分	収入	支出	区分	収入	支出
収益的収支	33億4,467万円	28億7,112万円	収益的収支	35億1,283万円	32億9,813万円
資本的収支	23億 215万円	46億8,240万円	資本的収支	14億7,802万円	27億8,028万円

※表示単位未満を四捨五入
 ※収益的収支の支出額については、現金支出を伴わないものも含まれるため、収入額より大きくなる場合があります。また、資本的収支の収入額が支出額に対し不足する額については、各会計の内部留保資金などで賄っています。

令和4年度決算状況

市では、予算の執行状況や決算について公表し、皆さんが納めた税金などがどのように使われているのかをお知らせしています。
 今回は、令和4年度の決算概要をお伝えします。
 問い合わせ 財政課 ☎574-0033